

「制度いらない」 東京で全国集会

21日の裁判員制度導入1年を前に、弁護士や憲法学者らが呼びかけ人を務める市民団体「裁判員制度はいらない！大運動」が18日、東京・日比谷で会見と全国集会を開いた。

呼びかけ人で漫画家の蛭子能収さんは「職業選択の自由があるはず。人を裁くことは自分にはできない」と語り、映画監督の崔洋一さんは「専門家に素人が囲まれて導かれる結論に真理はあるのか」と疑問を投げかけた。

集会では元裁判官の遠藤きみ弁護士が「迅速に処理しろというが裁判官も書記官も過労死する」と廃止を訴え、岐阜地裁で裁判員を務めた白木章さんは「徴兵制度のようだ」とビデオ出演でアピールした。

【長野宏美】